

## 教員の研究関心領域

家族社会学をバックグラウンドにして、少子化及びその背景要因に関する研究をしてきました。少子化及びそれによってもたらされる人口減少は、わが国が対応すべき喫緊の課題です。少子化は、結婚や家族の変容、雇用問題、地域社会の変化などさまざまな背景要因がからみあってもたらされています。少子化現象を分析すると、わが国社会の特徴と問題が浮かび上がります。各々の関係の実態をひとつひとつ解明し、わが国に求められる対策を提言する研究活動を行ってきました。

## 4年までのテーマ・方針・内容

文献や統計資料等をもとに、現代家族の特徴・問題およびその背景要因を学んでいきます。私の研究分野にからめて少子化や未婚化に関わる問題は取り上げますが、学生の関心に応じて取り上げる題材を工夫します。次の点を卒業までの到達目標にします。

- ①現代家族に関わる現象・問題をその背後にある社会の構造や問題との関係として捉えることができる。
- ②文献、統計資料、または個人で収集したインタビュー調査及びアンケート調査のデータなどによって、根拠を示すことができる。

## 卒業論文のタイトル例

新しくはじまるゼミであるため、既発表の卒論はありません。  
広く家族及び関連現象に関わるものであれば、どのようなタイトルの卒論でも可です。

成績評価  
基準・方法

- ①ゼミでの出席・発言、②ゼミでの報告、③ゼミで提出するレポート

自己紹介  
こんな学生を歓迎

少子化や人口減少等の社会の大きな変化に関心がある人も、現代夫婦・親子の関係やライフコースなど家族のミクロな事象に関心のある人も、歓迎です。ゼミは、ゼミ生同士が活発に意見をやりとりする場にしたいと思います。本ゼミのテーマに関心を持ち、積極的にゼミで発言する人を求めます。

## 演習Ⅰ テーマ：問題を捉える

内容  
スケジュール

春学期は、家族社会学及び関連分野の文献を読み、関連する統計資料も活用して、基礎的かつ幅広い知識を習得します。  
秋学期は、個人またはグループで、テーマを決めて文献・資料を調べて発表し、簡単なレポートにまとめます。

## その他

## 演習Ⅱ テーマ：仮説をつくり、根拠を調べる

内容  
スケジュール

演習Ⅰで学んだ基礎知識を活かし、自分が深堀りしたいテーマを決めます。そのテーマについて、各自がオリジナルな「仮説」をつくり、文献や統計資料等によってその仮説が本当であるかどうかを調べて、発表し、レポートを書きます。卒論につながる内容のレポートを書くことができるのが良いです。  
知識を広げるために、ゼミ全体で文献を読み進めることもします。

## その他

## 演習Ⅲ テーマ：主張を十分に論じる

内容  
スケジュール

卒論は、大学での勉強の集大成です。ここまでの演習等で学んだ知識を活用し、自分のオリジナルな主張を十分に論じるような卒論を執筆します。特に主張の論拠は大切です。文献、統計資料、個人で収集したインタビュー調査及びアンケート調査のデータなどをもとに、論拠を示しながら、説得力のある卒論を書きあげましょう。

## その他